

第6章 市民・事業者・行政の連携強化と人づくりの推進

1 市民、事業者、行政の協働の仕組みづくり

(1) ながの環境パートナーシップ会議の運営

ながの環境パートナーシップ会議は、市民・事業者・行政の三者が協働して、環境共生のまちづくりを進めるための組織として、平成13年6月に発足しました。「Think Globally , Act Locally」の理念のもとに『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』を推進しています。

①『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』

ながの環境パートナーシップ会議では、アジェンダ21（持続的発展が可能な社会実現のための人類の行動計画）が、地方自治体に対して取組を求めているローカルアジェンダとして、平成15年3月に『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』を策定しました。この計画は、長野市環境基本計画の実行計画としての意味も持っており、本市の環境ビジョン、28の具体的な行動計画（プロジェクト）、環境課題の分析、推進体制・進行管理等が記載されています。

平成18年度には、更なる展開のため、重点的に進める行動計画（プロジェクト）の選定、新たな行動計画（プロジェクト）の追加等の見直しを行い、「2007年度版プロジェクト」としてまとめました。その後、環境に関する諸課題が大きく変化してきていることから平成25年度に再度の改定を行い、「アジェンダ21ながのー環境行動計画-2013」を策定しました。

アジェンダ21ながのー環境行動計画-2013策定後は、本会の活動も順調に推移しているものの目標に未だ至っていないものも散見されています。また、地球温暖化問題等を発端に世界情勢の流れが変化してきました。

このような状況と第二次環境基本計画後期計画の策定を受け、アジェンダ21ながのを継続的に進めるとともに、同後期計画と整合を図り世界情勢の動向を踏まえながら、現行アジェンダ21ながのを継承し目標値の再設定などの時点修正を行い、アジェンダ21ながのー環境行動計画-2018を策定しました。

令和2年度は、11のプロジェクトチームが行動計画（プロジェクト）の推進に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、予定していた活動が実施できない年でもありました。そのような状況の中でもできる限りの環境保全活動を行いました。

②総会、理事会、プロジェクトチームミーティングの開催

令和2年度は、ながの環境パートナーシップ会議総会において、活動方針、予算等の決定を受け、ながの環境パートナーシップ会議全体の活動を企画・運営する理事会をプロジェクトチームリーダーとの合同会議を含めて8回開催しました。

また、各プロジェクトチームでは、チームミーティングを開催し、「理想の街」の実現に向けて、市民等の参加を呼び掛けたイベントや講座などの行動に取り組みました。

③イベント等への参加

信州環境フェア2020は2021に延期、ながの環境フェア2020は中止（代替イベント不参加）など新型コロナウイルス感染対策のため活動が思うようにできませんでした。

④プロジェクトサポーター制度

5つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

引き続き、事業者との協働体制による環境活動を推進していきます。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

※協働事業の状況は次のとおりです。

【協働事業の状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名
生ごみ削減・再生利用	長野市委託浄掃事業協同組合
子どもの環境学習支援	直富商事株式会社
小生物の育成環境保全	コマキ工業株式会社
生態系豊かな、水に親しめる川づくり (水環境保全)	株式会社公害技術センター
ぽんすけ育成 (退会)	信陽食品株式会社 (協働終了)

⑤諸団体等と連携

環境保全活動を将来の世代に伝え、協働するきっかけとするため「第10回ながの環境団体大集合」を計画しましたが、新型コロナウイルス感染対策のため中止となりました。

ながの環境パートナーシップ会議 推進中の行動計画 (プロジェクト)

No.	プロジェクト名	主な目標	主な活動
1	聖山自然復元プロジェクト	大岡聖山パノラマスキー場の跡地を、地域の環境に適合した植生に復元し、伝統的土地利用を考慮しながらCO ₂ 吸収源の拡大と、ボランティアによるネットワークを構築する。	休会
2	市民の森づくりプロジェクト	長野市には手入れされた里山と多様な動植物が暮らす豊かな森がある。この里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるようにする。	市民の森（ボブスレー・リュージュパーク内）を定期的に整備した。きのこ駒打体験、かんじき体験会が新型コロナウイルスの影響で中止になった。林業講座など市と協働した。
3	生態系豊かな、水に親しめる川づくり (水環境保全) プロジェクト	清らかな水が流れ、多くの生き物が息づいている街を目指す。	水辺の環境学習会等に参加協力した。

4	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	生ごみの減量化・再資源化に取り組み有効活用され、生ごみの大半がリサイクルされ、可燃ごみが減少しているまちを目指す。	令和元年東日本台風から復旧し、農場の整備が進んだ。 生ごみの堆肥を利用して野菜を収穫し、収穫祭を開催した。
5	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	再生可能エネルギーである太陽光を活用した持続可能で活力ある街を目指す。	休会
6	ながのカーボンオフセットプロジェクト	市民・団体・事業者一人ひとりが、生活や活動に伴う環境負荷を自覚し、環境に優しい社会構築への協働を目指す。	休会
7	子どもの環境学習支援プロジェクト	子どもの環境への関心を高めるため、環境学習や活動を支援する。	国際ユース環境会議を開催し、英語によるコミュニケーションを図りながらテーマである「ごみって何？」を学んだ。
8	小生物の育成環境保全プロジェクト	身近な自然環境を守り後世に残すために、小生物も生息できる豊かな自然環境の保全を目指す。	住民自治協議会等と協働してオオムラサキ繁殖地の計画的な保全活動を行うとともに、環境学習等の一環として観察会を実施した。
9	ぼんすけ育成プロジェクト	絶滅危惧種であるぼんすけ（シナイモツゴ）をシンボルとして、里山の役割と現状を市街地住民に知ってもらい、里山と市街地の市民が保全目標を共有できる街を目指す。	退会
10	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	浅川地区住民自治協議会のまちづくり計画に位置している「ゴマシジミの保護・育成」を通して里山の整備、自然環境の保全の大切さを学んでいくため継続的な活動を行う。	ゴマシジミの生息環境の維持と地元の資産として幅広い年齢層の継続性のある活動とするため、小学生が育てたワレモコウの移植、生息地内の草刈・間伐、生息地内のパトロールなどを実施した。
11	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト	若槻地区田中の桜公園作りを推進力に里山を里山らしく利用、保全を行う活動を展開することで、自然災害に強く、後継者も育ち定着する持続可能な地域作り・協力し支え合う地域・街を目指す。	近隣の住民や学生と共に「田中桜公園」の整備作業を行った。 また、整地やベンチの設置などにより多くの人に親んでもらえる公園作りを行った。

2 環境教育及び環境学習の推進

地球温暖化などの環境問題に関するさまざまな報道や自治体などのさまざまな主体の取組により、日常生活においても環境問題に対する意識が徐々に芽生え始めています。この芽を育て、環境負荷の少ないライフスタイルを広げるためには、市民一人ひとりの認識・理解を深めることが必要であり、そのためには、学校や家庭・地域・職場などにおいて環境教育・環境学習を総合的に推進することが重要となります。

本市では、教育機関や環境保全団体、ボランティア団体などと協働で、次世代を担う子どもたちへの環境教育を中心にさまざまな事業を実施しました。

(1) 長野市環境学習会

① 自然・水環境の学習会

川や水に親しみ環境保全意識を高めることを目的として、水生生物調査『夏の川遊び』を、また、山と親しみ自然の大切さや地域の歴史を理解することを目的として、『山の日イベント』を実施しました。なお、毎年開催しています『飯綱高原森林博物館・大谷地湿原での動植物観察会』は新型コロナウイルス感染対策のため中止となりました。

・『夏の川遊び 1』(雨のため中止)

・『夏の川遊び 2』

実施日：令和2年7月31日(金)

場所：長野市松代町 蛭川・関屋川公園

参加者：29名

講師：戸隠地質化石博物館 古賀研究員

内容：川の様子調べ、水生生物調査

・『山の日イベント エコサバイバル』

実施日：令和2年10月10日(土)

場 所：戸隠農村環境改善センター

参加者：35名

講 師：小川村地域おこし協力隊 梨本 利信氏

内 容：ロープワークや火起こし体験、木工クラフト

② 大気環境の学習会(新型コロナウイルス感染対策のため中止)

③ 地球温暖化防止学習会

「自然エネルギーってすごい!」と題し、地球温暖化防止活動推進センターと共催で開催。地球温暖化や自然エネルギーについて学習しました。

・『自然エネルギーってすごい!』

〈長野市地球温暖化防止活動推進センター共催事業〉

実施日：令和2年11月8日(日)

場 所：長野市市民交流スペース

参加者：94名

講 師：長野工業高等専門学校教授、地球温暖化防止活動推進員

内 容：環境DVDの上映、ソーラーミニカーの解説、体験コーナーでの発電実験

(2) こどもエコクラブの活動支援

こどもエコクラブは、平成7年度に始まり、現在は公益財団法人日本環境協会が主体となり、自治体や関係団体が連携して、子どもたちの学習や活動を支援するクラブです。

○長野市におけるこどもエコクラブ登録数の経年変化

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
クラブ数	9	6	2	2	2	2
会員数	329	284	71	66	58	61

(3) 第25回長野市環境こどもサミット

日頃から環境学習や環境活動に取り組む子どもたちが、その成果を発表したり、意見交換をしたりする機会として、実行委員会の主催で平成8年度から開催しています。平成21年度には、それまでの「長野市環境こども会議」から「長野市環境こどもサミット」に名称を変え、更なる活動の活発化を図りました。

第25回サミットは、「海のプラスチックごみを増やさないために、わたしたちにできることを考えよう!」をテーマに、学習会や環境標語（五七五）コンテスト等を通じて、具体的な行動を起こす機会となることを目的に開催しました。また、新型コロナウイルス感染対策のため、規模を縮小し開催しました。

第25回 長野市環境こどもサミット 開催日：令和2年10月25日（日） 会場：長野市勤労者女性会館しなのき 来場者：約120名（関係者のみ） 主催：長野市環境こどもサミット実行委員会 （長野ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト長野、 長野県環境保全協会北信支部、ながの環境パートナーシップ会議、長野市、 長野市教育委員会） 協力：わくわくリーダーズながの、学生団体Gomitomo、一般社団法人JEAN 内容： ・環境学習発表会 城山小学校 「どこまで掘ったら水が出るかな」 真島小学校 「環境に配慮した校内の田んぼでの米づくりについて」 豊野東小学校 「地域の皆さんにお礼の気持ちを届けよう」 大岡中学校 「ぼくらの大岡中探検記」 ・学習会 DVD 上映 「ごみ箱になった海」 「ワクワクでプラごみ問題を解決する！～ごみ拾いは最高の遊びだ！～」 講師：学生団体 Gomitomo 北村 優斗さん ・環境標語コンテスト表彰式 ・展示（10/25：しなのき及び10/30～11/8：市役所第一庁舎市民交流スペースにて） コンテスト応募作品、みんなの問題・海のごみ、環境学習発表のスライド等

(4) 指導者養成事業（新型コロナウイルス感染対策のため中止）

(5) 環境に関連した書籍等の活用

6月の環境月間にあわせて、子どもたちを中心に多くの方々に環境に関する書籍に触れてもらう機会を設け、環境問題を身近なものと感じて、関心と理解を深めてもらう契機とすることを目的に、小学校、中学校、公民館、図書館、幼稚園、こども広場、読み聞かせグループに「環境関連図書を集めたコーナー」の設置や「環境に関する読み聞かせ」の実施をお願いしています。

○令和2年度実績

報告書を提出いただいた施設の数	23 施設
「環境関連図書コーナー」の設置施設数	22 施設
「環境関連図書コーナー」の設置数	22 施設
「環境」に関する本や紙芝居等の読み聞かせ実施施設数	2 施設
「環境」に関する本や紙芝居等の読み聞かせ実施回数	4 回

○例年では、小学校、中学校、保育園、幼稚園、子ども広場、読み聞かせサークルに実施の依頼をしていますが、新型コロナウイルス感染対策のため、令和2年度は協力依頼を行っていません。